

ごあいさつ



所長・司法書士
清水敏博

本号の内容

- 1 ごあいさつ
- 2 あいおい日和
- 3 教えてあいおいくん
- 4 地域活動のご紹介
- 5 つれづれよこはま
- 6 日々雑感



当所キャラクター
あいおいくん

こんにちは！ 新年度がはじまりましたが、いかがお過ごしでしょうか？
私は例年以上に花粉症がひどくて大変でしたが、このところ、ようやく
症状も和らぎホッとしているところです。

さて、コロナ禍でのオンラインでの会議、テレワークが今や当たり前の時代。
アナログな私はついていくのがやっとなのですが、デジタル分野の進化は目
を見張るものがあります。

今、話題の対話型AIやチャットボットといったデジタル技術。質問を入力すると、まるで
対話をしているかのように即答があり驚かされます。多少の誤りなど違和感がある回答も
時にはありますが、専門的な質問にも一定レベルで適切な回答が得られます。今後も改善
が繰り返され、ますます利用しやすい便利機能になっていくことでしょう。

このような新しい技術は、私たち専門家にも大きな影響を与えます。文献であれこれ調
べないと回答できないことも、今後は人工知能によって膨大なデータから、即時に関連性
がを見つけ出され適切な回答が得られるようになるでしょう。

専門家の存在意義がますます問われる時代を見据え、当事務所が2001年から主宰する
弁護士、税理士、司法書士等11の士業グループでは、お客様にこの先どのような価値や
サービスを提供できるか？を日々話し合っています。

問題をきちんと認識せずに、的外れな質問をしてしまうとうまくAIを活用できません。

複合的問題の場合は、単純に1つの回答が得られればよいわけではありません。優先度を見誤ることで問題
がこじれたり、解決までに時間がかからないよう優先順位を考えた策を練ることが大切です。

また、不安や心配事を誰かに話すことで心が晴れることも多いでしょう。専門家がお会いし、お話を伺うことは
お客様にとって大きな安心感につながるのではないかなど、その時代に合った新しい価値やサービスを創出
していけるよう模索しているところです。

あいおい日和

成年後見人として認知症や障がいのある方50名のサポートを行っています。
コロナ禍で面会もままならないので、ご本人に喜んでいただけるちょっとした
お誕生日サプライズを昨年から企画しています。

例えば、楽しみや生きがいとして大切な食事。嚥下機能が低下した方に好ま
れる「プリン」を洋菓子店のこだわりの一品にかえて施設に届けました。

また、病院から直接、施設に入った方はインテリアが限られ、さみしい印象の
居室になりがちです。パーツと華やぐ、温かな雰囲気になるよう、これまでも花の
アレンジメントとぬいぐるみをお贈りしていました。ずっとそばに寄り添える、
ぬいぐるみが大好評なので形に残るものとして、直近の1~3月お誕生日には、
手先の器用な職員お手製「ダイヤモンドビーズ絵画」、うさぎやクマの「あみぐるみ」
をプレゼントしました。

これからも所員で知恵を出し合い、非日常を届けてゆきたいです。

